怒涛

題字　近藤禄郎氏

柏中柏高同窓会新聞
発行代表者
土田新吾
印刷所
㈱柏崎インサツ

少子化の不安

同窓会長　土田新吾

同窓会員の皆様には日頃より会の運営、維持に格段のご配慮をいただき、深く感謝申し上げます。柏崎高校の近年の活躍ぶりは学業のみならず多方面に亘りますことはご報告の通りでありますが、これは各位のご支援の賜物と喜んでおります。

ここで新年度早々ではありますが、わが母校にもかかわる将来への不安についてお話したいと思います。

☆　☆　☆

人口減少に歯止めがかからない。わが柏崎も例外ではないようだ。原因として、未婚者の増加、子をもうけない、あるいは授からない夫婦の増加、そしてその結果としての少子化などがあげられるが、奥深い複雑な要因も考えられ、対策も緒についたばかりで、有効な手立ては見い出せていない。データバンクの推論によれば、日本の総人口が一億人を割る日もそう遠くない。人口減少は国の衰退のはじまりともいわれている。消滅が予想される市町村がランクづけされるほど身近な問題となっている。

さて、わが柏崎高等学校も、この少子化の中、学級減を余儀なくされており、近い将来普通高校どうしの統合をも視野に入れねばならない。やむを得ないことであろうか。有為の人材を世に送り込んできたわが校も時代の流れに逆らえないのであろうか。

視点を変えて、わが柏崎の衰退をくい止める希望はないのであろうか。ささやかな望みかもしれないが、大学卒業後、郷里に帰れる働き場所をつくれないだろうか。その核となるような新しい産業をこの町に起こせないものだろうか。容易でないことは重々承知の上だが、あえて語らずにはいられない。同窓諸氏のお知恵とお力を賜りたい。

**会の円滑な運営のため
会費を納めていただきたく、
皆さまのご協力を
お願い申し上げます。**

平成26年度同窓会総会の報告

安達文幸氏（21回）の講演会盛況

「進化する高速通信技術と災害にも強い携帯電話の研究開発を」

講演する安達文幸氏

平成二十六年度の柏中・柏高同窓会総会が、八月二日（土）柏崎市産業文化会館で開催されました。今年度は、当番幹事長の佐藤良一氏（高21回）を中心に、24・30・36・42・48・54・60・66回の各期の幹事の方から、諸準備に精力的にご協力いただきました。

恒例の記念文化講演会は、東北大学教授安達文幸氏（高21回）から「携帯電話の進化と3・11東日本大震災を振り返って」と題してお話をいただきました。

安達氏は、大学卒業後電電公社（現NTT）に入社し、当時はまだサービスの始まっていない携帯電話の研究開発に従事し、二〇〇〇年に東北大学に移籍された後も、NTTドコモ他と共同研究を行い、新しい携帯電話の開発に取り組んでこられた経緯を語られました。

第一世代の携帯電話は自動車電話で限られた人しか使えなかったが、今では携帯端末数は人口より多いこと、信号伝送のデジタル化により第二世代、第三世代、そして間もなく第四世代へと、ほぼ十年毎に技術は飛躍的に進化してきたが、すでに第五世代に向けての研究が進行中であり、将来は、より広い画面や立体画像も夢ではないことなどを、携帯電話の仕組みやつながり方の基本を交えて話されました。また、先の3・11東日本大震災を仙台のキャンパスで体験し、通信ネットワークが使えなかったことを踏まえ、今後とも、災害にも強い携帯電話と高速化通信技術の研究開発に取り組んでいきたい、と結ばれました。

総会では、土田新吾会長（高16回）が、会費の納入は、やや回復基調にあるが一層の協力を願いたいと挨拶されました。

続いて、平成二十六年四月に就任された上野順治学校長が、母校の現状を報告され、輝かしい伝統を継承しつつ、常に進歩する学校を目指していきたいと挨拶されました。

また来賓の室賀美津雄新潟柏会会長（高8回）、村田仙二関西柏会会長（高11回）、近藤健彦東京柏会会長（高12回）を代表して、村田氏から挨拶をいただきました。

議事に入り、事業報告・決算及び新年度事業計画・予算が原案通り承認されました。なお、故山田順太郎氏（高8回）の遺贈金に基づく「柏崎高等学校生徒育成資金」の決算報告も了承されました。

小山　碩先生

宮田新太郎先生

外山　隆先生

続いて三名の招待恩師からお話を頂戴しました。

小山碩先生は、新卒として赴任した当時の思い出を語られました。宮田新太郎先生は、五つの学校経験の中でも「米峰突兀」の校歌が一番元気が出る、と話されました。外山隆先生は、校舎建て替えと八十周年記念事業水球指導と滋賀国体の思い出等を話されました。

参加者約二〇〇名による和やかな懇親会は、最後に、校歌斉唱と万歳三唱で締めくくり盛会裡にお開きとなりました。

第六回新潟県内高等学校同窓会長有志懇談会

――本校で開催される

十一月十五日（土）本校にて出席二十校、四十一名の参加で標記の会が開催されました。同会は、平成二十年新潟高校同窓会が発案し、県内の旧制中学および女学校時代から続いている高校の同窓会に呼びかけて設立したと言うことです。第一回は青山同窓会（新潟高校）が主催し、以後、長岡高校、三条高校、高田高校、新発田高校、そして柏崎高校で六回目を迎えたわけです。その間高田高校の時に東日本大震災にぶつかり、一年空白がありました。

懇談会は、小林浩人教頭先生の案内で校内見学をした後、土田新吾会長、上野順治校長の歓迎の挨拶で始まり、その後、今年度百四十周年行事のあった高田高校からその報告があり、また、開催校の柏崎高校同窓会の現状が報告されました。

懇談の課題については、事前に各校にアンケート調査を行い、次の六つの課題にまとめ意見交換がなされました。①同窓会の活力、②スタッフ、③会員、④総会、⑤会費、⑥支部 について各校の現状、悩み、解決法等それぞれ発表されました。その中でも賛同の拍手が起こったのは、村上高校の同窓会への参加および活性化について、無理をせず一人が一人を誘うという、プラス一運動を行っているという取り組みでした。

懇談会の後は、柏崎ふるさと人物館を見学して貰い、その後、岬館にて懇親会を行い、友好の場は大盛況でした。来年の主催は小千谷高校同窓会にお願いしました。

懇談会

校内見学

懇親会

事務局より

連絡先

①	郵便	〒945-0065 柏崎市学校町4-1 新潟県立柏崎高等学校 柏中・柏高同窓会 事務局
②	ファックス	0257(35)7838
③	E・メール	dotoh@kzh.biglobe.ne.jp
④	電話	0257(35)7839

■会員の「**住所変更・訂正**」「**物故**」の連絡は、上記の①郵便　②ファックス　③E・メールでお願いいたします。
■正確を期すため、④電話での連絡はできるだけ避けてください。
■特に、「**物故**」の連絡は、**必ず** ① ② ③ でお願いいたします。

※この2月に新しい「**柏中・柏高同窓会 会員名簿**」を無事に発刊できましたことは、偏に会員のみなさま方のご協力とご支援の賜と感謝申し上げます。同窓の更なる絆としてご利用いただければ幸いです。

柏中・柏高同窓会会長
土田新吾（高16）
〒945-0842 柏崎市米山台五－十－十二
電話（〇二五七）二四－七二二一

学校法人中延学園理事長
（朋優学院高等学校）
佐藤早苗（高5）
〒140-8608 品川区西大井六－一－二三
電話 〇三（三七八四）二一三一

平野内科医院
平野徹（高16）
〒945-0821 柏崎市幸町三－一一
TEL（二一）〇六五五

東京税理士会元会長
税理士 関本和幸（中45）
税理士法人トップ会計事務所 会長
〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目十八番十八号 新宿税理士ビル
電話 〇三（三三七一）三七四一
FAX 〇三（三三六五）三七四七

柏崎司法書士会々員
村山照家（中42）TEL 〇二五七－22－四二七二
中村八郎（高10）TEL 〇二五七－24－四五〇一
伊藤誉士勝（高14）TEL 〇二五七－22－二〇六三
今井元紀（高15）TEL 〇二五七－24－五五二〇
田辺信一（高17）TEL 〇二五七－23－七九四九
宮田知津子（高25）TEL 〇二五七－24－五五二二
江口淳（高30）TEL 〇二五七－20－〇四二八
井比俊雅（高45）TEL 〇二五七－32－〇五五四
柿崎啓子（高47）TEL 〇二五七－24－四五〇一
伊藤勝史（高49）TEL 〇二五七－22－二〇六三

校内記事

国立天文台および東京大学大学院准教授

梶野敏貴氏（高26回卒）

「SSHスーパー講演会plus 日韓交流研究発表会」で講演

演題『宇宙・生命・知性の誕生と将来』

本校は、平成二十年にSSH校に指定され、五年間の研究開発により、大きな成果をあげた。再申請が認可され、平成二十五年四月から二期目に入り、現在七年目である。

この間、世界的に活躍されている科学者を招き、SSHスーパー講演会を開催してきた。また、二期目の平成二十五年度からはSSHを通して交流している韓国の科学重点学校の訪問団も参加し、日韓交流研究発表会を同時開催している。

今年度は、本校OBの梶野敏貴氏を講師に、七月二十五日柏崎市文化会館アルフォーレにおいて開催された。

アルフォーレの大ホールには、全校の生徒・教員に加え、同窓会長をはじめとした同窓会役員、PTA役員や保護者、地域の教育関係者等多数の外来者があった。そして梶野氏の恩師、小野島泰治先生、佐藤保夫先生、小山碩先生、遠山昌見先生も出席された。

「なぜ、宇宙は存在するのか」「私たちは、どこから来たのか」「私たちは、どこへ行くのか」との問に、梶野氏自らが答える形で講演が進んだ。宇宙の多重論から宇宙の膨張、対称性の破れ、素粒子の標準理論に至るまで先端的な現代物理学が紹介された。講演の最後は、「人は英知を共有し、様々な困難を乗り越え、その知を子孫に伝え、心豊かに生き抜くために生まれた」と締めくくられた。真理を求め続ける精神を大切にする梶野氏の研究姿勢に、多くの生徒が深い感銘を受けた。韓国の生徒にも分かるよう、まず日本語で話された後、同じ内容を英語で話された。この英語は大変分かりやすく、本校生にも素晴らしい英語教材となった。

このあと、吹奏楽部の生徒の演奏に合わせ書道部生徒が書道パフォーマンスを披露、書道を趣味とされている梶野氏も参加され、堅い講演のあと会場は和やかな雰囲気につつまれた。

最後に、姉妹校の韓国・新道林高校の生徒と本校生徒の英語による研究発表が行われた。

午後は、学校でさらに新道林高校訪問団と本校理数コース二年生の交流会が持たれ、授業見学・研究発表会・交流会などを実施し交流を深めた。この席にも梶野氏が参加され、両校生徒に学ぶ意味について熱いメッセージを送った。また、三年生の有志が梶野氏を訪ね、宇宙について詳しい講義を一時間以上受け、梶野氏から東大で会おうと激励されていた。

OB・梶野先生から後輩たちに熱いエールが送られた一日であった。

書道パフォーマンスの最後に
朱で「愛」と書く梶野氏

講師 梶野敏貴氏

編集後記

母校の服装自由化は、昭和四十八年、生徒大会で決議され、同年十二月一日より実施されました。生徒手帳にも掲載されている「服装自由化宣言」は、当時の親友会会長であり、今年度の「SSHスーパー講演会」講師である、梶野敏貴氏が書かれたものです。

近年、女子生徒の多くが「なんちゃって制服」を着用している学校もあると聞きます。もう一度「服装自由化宣言」をじっくりと読み、その意義を考えていきたいものです。

各部活動の足跡

〈野球部〉
○全国高等学校野球選手権新潟大会
　4回戦 0－10中越
○北信越地区県大会
　2回戦 1－3新潟県央工業

〈バスケットボール部〉
◆男子
○柏崎選手権大会 1位
○北陸バスケットボール選手権大会 ベスト8
○秋季上越地区大会 2位
○平野杯 1位
○BSN杯 ベスト8
◆女子
○柏崎選手権大会 2位
○北陸バスケットボール選手権大会 ベスト32
○深石精一杯高等学校バスケットボール大会 1位
○秋季上越地区大会 3位
○平野杯 2位

〈バレーボール部〉
◆男子
○選手権県大会 出場
○秋季上越地区大会 3位
　県大会出場
◆女子
○選手権地区予選会 リーグ 1位 県大会出場
○選手権県大会 出場
○秋季柏崎選手権大会 出場
○秋季上越地区大会 4位
　県大会出場

〈ハンドボール部〉
◆男子
○秋季大会 準優勝
◆女子
○インターハイ
　1回戦 30－16高知東（高知県）
　2回戦 11－39玉野光南（岡山県）
○秋季大会 準優勝

〈サッカー部〉
○全国高校サッカー選手権大会新潟県大会 2回戦敗退
○上越地区秋季地区大会 準優勝

〈水球部〉
○北信越高等学校選手権水泳競技大会 第3位
○北信越国民体育大会水泳（水球）第3位
○北信越高等学校新人水球競技大会 参加

〈陸上競技部〉
◆男子
○県選抜大会
　棒高跳3位　品田大樹
　　　　　　押見　龍
○北信越新人大会
　棒高跳11位　品田大樹
　　　14位　押見　龍
◆女子
○県選抜大会
　100mH 3位　髙橋侑夏
　400mH 5位　髙橋侑夏
　5000mW 3位　保坂佑希
　やり投1位 櫻井美沙子
　七種競技1位 櫻井美沙子
○北信越新人大会
　5000mW 4位　保坂佑希（柏高記録）

〈硬式テニス部〉
◆男子
○選抜テニス大会上・中越予選団体
　1回戦 2－3帝京長岡
○秋季地区大会ダブルス ベスト8
　宮島有輝・大図拓海
◆女子
○選抜テニス大会上・中越予選 6位
○秋季地区大会
　シングルス
　ベスト8
　西巻うらん
　ベスト16
　山田絵莉、前田雛乃
　中村明夏、三井田茉唯
　ダブルス
　ベスト4
　中村明夏・三井田茉唯
　西巻うらん・赤澤由依
　ベスト8
　山田絵莉・前田雛乃

〈ソフトテニス部〉
◆男子
○秋季上越地区大会
　個人戦 ダブルス
　ベスト4
　弓納持圭介・村山晃太郎
　ベスト8
　深井翔太・堂用泰生
　個人戦 シングルス
　ベスト8　村山晃太郎
○県新人選抜大会
　個人戦 ダブルス
　ベスト16
　弓納持圭介・村山晃太郎
○高校選抜地区予選 地区予選敗退
◆女子
○上越地区1年生大会
　個人戦 ダブルス 優勝
　武井映美・髙橋伶実
○秋季上越地区大会
　個人戦 ダブルス
　ベスト4
　武井映美・髙橋伶実
　個人戦 シングルス 優勝
　武井映美
○高校選抜地区予選
　団体戦 地区予選敗退

〈バドミントン部〉
◆男子
○県1・2年生大会
　シングルス ベスト8
　大矢逸暉
　ダブルス ベスト16
　大矢逸暉・木宮　崇
○秋季上越地区大会
　男子学校対抗戦 第3位
　シングルス
　1位　大矢逸暉
　3位　木宮　崇
　ダブルス
　1位　大矢逸暉・木宮 崇
　ベスト8
　大久保佳祐・藤田茉含
○県選抜大会
　シングル ベスト16
　大矢逸暉、木宮　崇
　ダブルス ベスト8
　大矢逸暉・木宮　崇

〈卓球部〉
◆男子
○県高校1年生大会
　シングルス
　3位 田村雄斗
　ベスト16　神戸基貴
○秋季上越地区卓球大会
　学校対抗戦 第5位
　シングルス
　ベスト16
　五十嵐大輝、田村雄斗
　ベスト24
　目﨑　建、神戸基貴、新保淳也
○県選抜卓球大会
　学校対抗戦 第7位
　シングルス
　8位　田村雄斗
　ベスト32　五十嵐大輝
○北信越大会
　シングルス
　3位　田村雄斗
◆女子
○秋季上越地区卓球大会
　学校対抗戦 第4位
　シングルス
　ベスト16
　渡邉里緒奈
　ベスト32
　青山千夏、藤原郁美
　坂口綾音
○県選抜卓球大会
　学校対抗戦 ベスト16

〈弓道部〉
◆男子
○県錬成大会
　個人 3位 羽田正彦
○秋季上・中越地区大会
　団体 3位（羽田正彦、柳澤翔太、木村悠太）
　個人 6位 羽田正彦
◆女子
○秋地区大会
　団体
　優勝（本間莉菜、小林美月、樋浦友実）
　2位（廣川彩花、萩野純菜、廣瀬祐花）
　個人 2位 廣川彩花
　　　5位 小林美月

〈吹奏楽部〉
○県コンクール（高校Bの部）金賞
○県アンサンブルコンテスト（高等学校の部）
　銀賞 金管八重奏
　銀賞 サックス四重奏

＜生物部＞
○全国高等学校総合文化祭 ポスター発表部門 文化庁長官賞
○県高等学校自然科学系クラブ活動報告・研究発表会 ポスター発表部門 優秀賞

＜演劇部＞
○県高文祭・上中越地区（B）演劇発表会 優良賞

＜美術部＞
○柏崎市展　洋画部門 入選
　山崎美波　石橋沙良々
　霜田友莉亜
○県文連美術・工芸、書道展
　山崎美波　石橋沙良々
　石森　遙　丸山万由加
　池田七海
○柏崎地区高等学校美術部書道部展覧会（α展）
　出品

＜弁論＞
○県大会
　優秀賞
　春川健太（2015年第39回全国総文祭滋賀大会に出場）
　優秀賞
　星野　陽　宮島有輝
　山崎美波
　奨励賞　河合彩乃

＜書道部＞
○高文連 美術・工芸、書道展
　庭山実歩　吉田理恵
○柏崎地区高等学校 美術・工芸、書道展（α展）
　庭山実歩　吉田理恵

魚が美味しい農業を育てる
生ゴミリサイクル肥料　元気ゆうき君
株式会社柏崎エコクリエイティブ
柏崎観光事業株式会社
代表取締役 仁木賢（高17）
TEL（〇二五七）二八－一〇七七

代表取締役 増田泰（高30）
新潟県柏崎市半田一－二－三三
TEL（〇二五七）二二－二二九三

同窓各位のご来館お待ち申し上げております
公益財団法人
木村茶道美術館
創設者（故）木村重義（旧中職10回）
理事長 今井元紀（高15）
館長 石黒信行（高21）

最上屋
代表取締役 吉田勝彦（高29）
柏崎市西本町一丁目三番二二号
TEL（〇二五七）二二－四一四五
FAX（〇二五七）二三－〇五五五

馬場会計事務所
税理士 馬場正人（高19）
〒945-0046 柏崎市四谷二－三－十四
TEL 二二－六一七一

全国同窓会名簿作製
同窓会アドバイザー
株式会社サラト
本社 〒六七〇－〇九四八 兵庫県姫路市北条宮の町一七二番地 TEL（〇七九二）八四－一三八〇
東京支社 〒一一〇－〇〇一六 東京都台東区台東四－一八－七 シモジンビル5F TEL（〇三）三八三二－六三八一

○同窓会本部 会長 土田新吾（高16）
連絡先 〒九四五－〇〇六五 柏崎市学校町四－一 柏崎高等学校同窓会事務局
TEL（〇二五七－三五－七八三九）
FAX（〇二五七－三五－七八三八）

○東京柏会 会長 近藤健彦（高12）
連絡先 〒一七一－〇〇三三 東京都豊島区南池袋二－二九－九 損保ジャパン池袋ビル8F 東京テレマーケティング内
FAX（〇三－五三九一－七三三三）

○関西柏会 会長 村田仙二（高11）
連絡先 〒六〇六－〇〇〇一 京都市左京区岩倉大鷺町二一－五 山崎学方気付
TEL（〇七五－七二四－三三八六）

○新潟柏会 会長 室賀美津雄（高8）
連絡先 〒九五〇－二〇二二 新潟市五十嵐二の町八三二七－一 伊部悦雄（高11）
TEL（〇二五－二六三－一七三三）